ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.013　2025年11月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

議員削減は民意の切り捨て

議会制民主主義の根幹を揺るがす高市自民・維新連立政権



自民・維新連立合意の翌朝、赤羽駅西口で訴え　＝10月21日

日本の国会で初めて女性の総理大臣が誕生しました。自民・維新連立の高市政権は、果たして国民の期待にこたえてくれるのでしょうか。自民と維新との連立合意書には、維新の強い要望で「1割を目標に衆院議員定数を削減するため、25年臨時国会に議員立法案を提出、成立を目指す」との項目が盛り込まれました。定数削減は、国民の声を国会に届けるパイプを細くし、議会制民主主義の根幹を揺るがすものです。

そもそも日本の国会議員定数は100万人あたり5.6人と、経済協力開発機構（OECD）加盟国38か国中36番目の水準です。イギリスと比べても4分の1程度にすぎません。

さらに重大なのは、維新の狙いが比例定数の削減であること。比例代表は票数に応じて定数内で当選人数が決まるため民意が正確に反映されます。一方、小選挙区は各選挙区で最大得票の候補者1人しか当選できないので、それ以外の得票は議席に結びつかない「死票」になります。比例定数の削減は、小選挙区が持つゆがみをさらに拡大し、少数意見の切り捨てにつながります。

いきなり与党の合意だけで議員定数の削減を強行することは断じて許されるものではありません。「議会制民主主義を守れ!」と声をあげていきましょう。

田原聖子の 活動日誌



フランスのバラ・ピース
旧古河庭園 ＝10月28日



消費税は今すぐ5%へ減税を
JR王子駅での宣伝行動 ＝10月25日

親子カフェ

●11月30日(日)・12月21日(日)13:30～17:00
●会場: Tokyo12Haus 北区志茂2-53-7

ご相談はお気軽に

生活　携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。

家族　家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。

仕事　親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、尊厳が尊重される社会をめざして

歌って、踊って、特別支援学校で学習する結ちゃん。気分がノリノリの日も、気乗りしない日も、先生から「ファイト!」と励まされながら、ひらがなや数字の勉強しています。

最近は、テレビの旅行やグルメ番組で、「うどん」の文字が出てくるのをひそやかに待っています。画面いっぱいにうどんが出てくると、「うどんだね、おいしそうだねー」とニッコリ。焼き肉やステーキが出てくると「おにくだね!」と、さらに上機嫌になるのでした。

そんな結ちゃんは、旅行とグルメをしながら育ってきたようなものだと思い出しています。今週は大阪、来週は香川と、会議のたびに宴会する労働組合に子どもたちを突き合わせてきました。結ちゃんの姉からは、「もう、お母さんのお仕事にはいかない」と言われて気にしてきたのですが、結ちゃんは、お母さんとの旅行やグルメを楽しんでいたのかしら、と思うこの頃です。



大阪行きの新幹線で唐揚げ弁当(2018年8月)